

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	白石町立 福富中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関しては、定期テスト前の「プレテスト」、「自主学習ノート」の実施を中心に取り組んできた。家庭学習と授業を連携させることで、学習への意欲を向上させることができた。 ・一昨年度の「全教員による道徳授業の実践」に引き続き、昨年度は新たに「異教科間TT」及び「予習型授業」に取り組んだ。「異教科間TT」については、お互いの授業を参観およびT2として入ることで、それぞれの指導技術を学び合うことができ、相互の授業改善につながった。「予習型授業」については、生徒の「主体的・対話的な深い学び」を実現するために予習と授業の連動が必要であることを、全教職員で共通理解を図っている。より効果的な予習課題と授業構成の在り方について改善を加え、今後も継続して取り組みたい。 ・生徒指導面では、おおむね適切な対応ができた。昨年度は組織的に一貫性のある対応をすること、チームを組んで対応することをめざして取り組んだ。今後も、全職員で協働した取組をしていきたい。 ・学校経営面では、教職員の「働き方」に対する意識の改革に努めた。教職員の仕事の効率化や環境整備に努め、負担感なく、意欲的にチームとして学校教育目標の達成に向うことができるように、引き続き取り組みたい。
2 学校教育目標	夢を持ち、豊かに生きる生徒の育成 ～ コミュニティ・スクールを通して ～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①教職員の協働力を発揮した小中連携と地域連携・・・縦糸となる「小中連携」、横糸となる「地域連携」 ②確かな学力の定着と教師の指導力向上・・・「基礎基本の定着を図り、主体的で対話的な深い学びに向けた授業改善」 ③新しい時代に必要となる資質・能力の育成・・・「思考力・判断力・表現力」を高める指導・支援の工夫 ④地域と共にある学校：コミュニティ・スクールの推進・・・「学校運営協議会」を中心として、社会性・町民性・人間性を育む

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全教員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上を目指す。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。						
	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○アンケートで「『学び合い』を取り入れた授業を通して学力が向上している」と回答した生徒80%以上を目指す。 ○「用語等を使って、具体的に振り返りを記述することができた」生徒80%以上を目指す。	・学校で統一した型に倣い、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・振り返りの文例を示したり、振り返りの視点を示したりして、具体的に振り返らせるようにする。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートで「人の気持ちが分かる」等の思いやりの項目90%以上を目指す。	・学年全職員で道徳の授業を実施する。 ・学期ごとの授業評価を実施する。 ・ふれあい道徳の授業で「思いやり」に関する内容を学校共通実施する。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上を目指す。	・毎月の生活アンケートを実施する。 ・年2回の教育相談を実施する。 ・教職員間の報告・連絡・相談を徹底する。 ・いじめ対応時の役割分担を明確にする。						
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒70%以上を目指す。	・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修等を実施する。 ・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。						
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○「健康に食事は大切」と答える生徒100%を目指す。 ○給食残菜率0%を目指す。	・食に関する意識調査を実施する。 ・給食週間に「食に関するビデオ」を生徒に視聴させ、食への関心を高めさせる。 ・保健だより・食育だよりを発行する。						
	○感染症等の予防	○熱中症や新型コロナ・インフルエンザ等予防対策などを通して、健康で安全な学校生活が送れていると回答した生徒80%以上を目指す。	・感染症や熱中症の予防。健康観察の強化、手洗い、マスク着用の徹底、熱中症指数の掲示、冷凍庫の整備等を行う。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定(毎週水曜日) ・学校閉庁日の設定(夏季・冬季休業中) ・部活動休業日の設定(第3日曜日、毎週水曜日、原則週2回の休業日)						
	○多忙感解消	○職員の協働意識を高め、職務の効率化と生徒への指導の充実を図り、多忙感解消と教職員70%以上を目指す。	・タイムマネジメントを行うと共に、定時退勤日の確実な実施を行う。 ・副担任による担任への協力や支援を行う。						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○コミュニティ・スクールの推進	○白石町の目指す4つの重要項目の推進	○4つの項目について、「あいさつ」70%以上、「お手伝い」70%以上「家庭学習」80%以上「自力登校」晴天時100%を目指す。	・教師からの助言や各通信を活用し、生徒への啓発活動を推進する。PTA、学校運営協議会で協力して活動を行う。						
○信頼される教職員としての意識の向上	○信頼される教職員としての意識の向上	○諸会議等で指導し、校内での周知・確認を行う。コンプライアンス意識を強化するとともに、服務規律の堅持100%を目指す。	・職員会議等で指導するだけでなく、長期休業中にサービスの研修を実施する。 ・交通事故防止のため、西部教育事務所発行の運転チェックシート等を活用する。						

●・・・果共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育	<p>5 総合評価・次年度への展望</p>
------------------------------	-----------------------